Photo Loader

Version 1.1

カシオ液晶デジタルカメラ専用
画像取込ソフト
Macintosh版

取扱説明書

B
K851PSM2DMX

• Macintoshは米国アップルコンピュータ社の商標です。
• COMPACTFLASH、コンパクトフラッシュ、CFロゴは、米国SanDisk社の商標です。
• MultiMediaCard ™は、独Infineon Technologies AG社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）にライセンスされています。
• その他の社名および商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
• 本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
• 本書の内容につきましては万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。

Photo Loaderはカシオ計算機(株)の著作物であり、上記を除き、これにかかわる著作権およびその他の権利はすべてカシオ計算機(株)に帰属します。
本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できません。
万一、Photo Loaderの使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

重要

• Photo LoaderはMacintosh内蔵のハードディスクドライブ以外にはインストールしないでください。リムーバブルディスクドライブやCD-Rなどにインストールすると、正常に動作できなくなることがあります。

目次

はじめに

本書は、カシオ液晶デジタルカメラ専用画像取込ソフト「Photo Loader」(以後、本書ではPhoto Loaderと呼びます)の取扱説明書です。Photo Loaderは、Macintosh上で動作するアプリケーションソフトであり、本書ではMacintoshそのものの操作については説明しておりません。
本書は、Photo Loaderをご使用になるお客様が、少なくとも以下のような基本操作に習熟されていることを前提として書かれています。

- クリック、ダブルクリック、ドラッグ、ドラッグ・アンド・ドロップなどのマウス操作
- マウスによるメニュー操作
- キーボードによる文字入力
- Macintoshのウインドウ操作

これら基本的な操作につきましては、お手持ちのMacintoshおよびMac OSの取扱説明書をお読みください。

■Photo Loaderをはじめてお使いになるかたへ

付属のCD-ROM内の「お読みください」ファイルをお読みください。Photo Loaderの動作環境の確認方法、Macintoshへのインストール方法が記載されています。
Photo Loaderをインストールする前に、必ず動作環境、使用できるMac OSのバージョンをご確認ください。

■Photo Loaderでできること

デジタルカメラやメモリーカードから自動的に撮影画像を取り込む

デジタルカメラやメモリーカードから、撮影画像をMacintoshに自動的に取り込むことができます。

重要

- Photo Loaderを使用して取り込むことができる撮影画像は、JPEG形式で保存された画像ファイルと、AVI形式で保存された動画ファイルです。

大量の画像データをライブラリとして扱う

取り込んだ画像ファイルは年月日のフォルダ単位で管理し、これをライブラリとして扱います。

撮影画像をカレンダー形式で検索できるHTMLファイルを自動作成

Macintoshに自動または手動で取り込んだ撮影画像は、カレンダー形式で検索できるHTMLファイルを自動作成しますので、ブラウザを使用して各ライブラリの中を見ることができます。

■Photo Loader1.1の新機能

Photo Loader1.1ではいくつかの新機能が追加されています。詳しくはCD-ROMに入っている「はじめにお読みください」ファイルを参照してください。

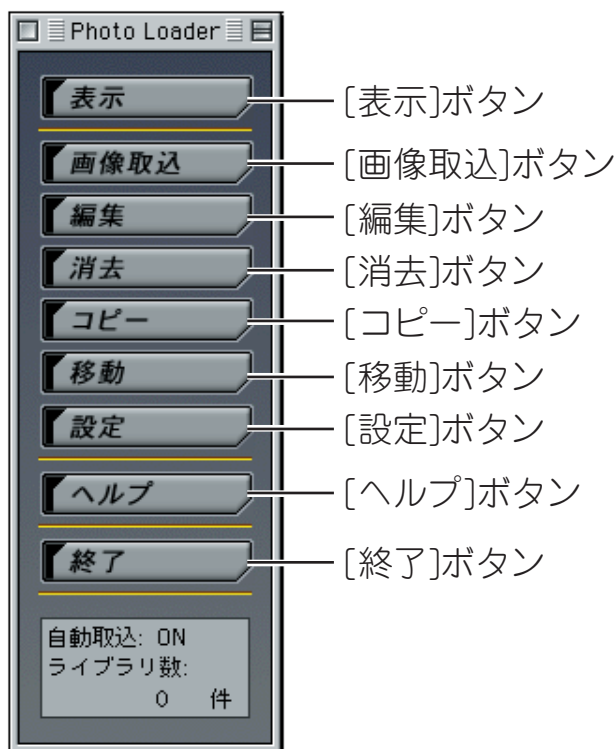
■Photo Loader1.0のライブラリの継承性

Photo Loader1.0をお使いで、1.1へバージョンアップされる方はインストール前に必ずCD-ROMに入っている「重要」ファイルをご覧になり、手順をご確認願います。手順通りにインストールしない場合、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhoto Loaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。

■本取扱説明書の読みかた

操作方法の表記について

すべての操作説明は、マウスを使用することを前提として書かれています。

本書では、ダイアログボックス中のボタンを次のように表記しています。

表示画面について

- 本書中に使用している表示画面は、実際の画面と若干異なる場合がありますが、表示内容そのものが異なるということはありません。あらかじめご了承ください。

Photo Loaderを起動する

Photo Loaderを起動するためには、Photo LoaderをあらかじめMacintosh本体にインストールしておく必要があります。まだインストールがお済みでない方は、Photo LoaderをMacintosh本体にインストールしてください。

1. Macintosh本体の電源を入れ、Macintoshを起動します。
2. インストール先のフォルダを開き、「Photo Loader 1.1J」をダブルクリックします。

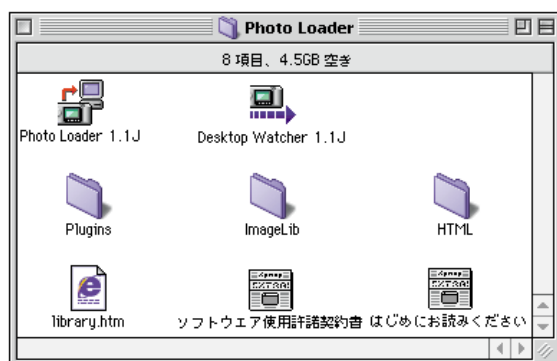



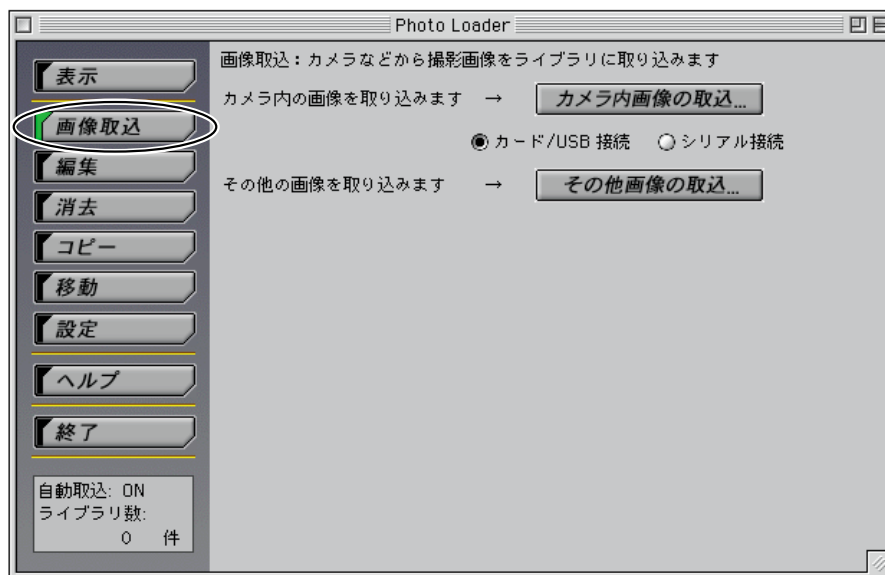
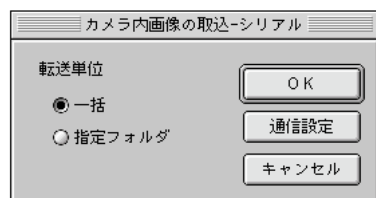
Photo Loaderが起動し、機能ボタンが表示されます。

Photo Loaderの機能ボタン

■デジタルカメラとPhoto Loaderの通信状態を確認する(シリアル接続の場合)

重要

- デジタルカメラの機種によってはシリアル接続ができません。詳しくはデジタルカメラ本体の取扱説明書をお読みください。
- デジタルカメラから画像データを取り込む前に、デジタルカメラとPhoto Loaderが正しく通信できるかを次の手順で必ず確認してください。
  ※通信状態を確認する前に、デジタルカメラとMacintoshを接続しておいてください。接続方法については、デジタルカメラ本体の取扱説明書をお読みください。
  ※「シリアル接続」とは、モデムポートまたはプリンタポートに接続している場合をいいます。

1. 機能ボタンの中から、[画像取込]ボタンをクリックします。

2. 「シリアル接続」を選択して、[カメラ内画像の取込...]ボタンをクリックします。

3. [通信設定]ボタンをクリックします。

操作を中止するときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

- ケーブルを接続したMacintoshのシリアルポートと、設定ダイアログのポート設定で表示されているシリアルポート(モデムポートまたはプリンタポート)が同じであることを確認してください。
- Macintoshのシリアルポートについては、Macintosh本体の取扱説明書をお読みください。
- 接続したシリアルポートと設定ダイアログのポートが異なっていた場合、接続したシリアルポートを選択してください。

4. [通信テスト]ボタンをクリックします。

- 「カメラを認識しました。」のダイアログが表示されたときは、[OK]ボタンをクリックしたあと、設定ダイアログの[OK]ボタンをクリックしてください。
- エラーメッセージのダイアログが表示されたときは、デジタルカメラとPhoto Loaderが正しく通信できていません。対処方法については、機能ボタンの中の[ヘルプ]ボタンをクリックし、「トラブルシューティング」を参照してください。

Photo Loaderの使いかた

ここでは、Photo Loaderの使いかたを機能別に説明しています。

■画像を取り込む

ここでは、Photo Loaderを使用してMacintoshに画像データを取り込むための操作方法を説明します。画像を取り込む方法には、「自動で画像を取り込む」、「手動で画像を取り込む」の2通りがあります。

※ Photo Loaderを使用して取り込むことができる画像は、JPEG形式で保存された画像ファイルと、AVI形式で保存された動画ファイルです。

※ 画像を取り込む操作をする前に、周辺機器とMacintoshを接続しておいてください。接続方法については、デジタルカメラ本体の取扱説明書をお読みください。

※ 取り込む画像の分類方法には、「撮影日付分類(自動分類)」、「年月日指定分類(一括分類)」の2通りがあります。詳しくは41ページ「ライブラリの分類方法」を参照してください。

自動で画像を取り込む

自動取込の設定をしておけば、監視プログラムが起動して、Macintoshに接続したデジタルカメラから画像を自動的に取り込むことができます。

自動取込機能は、下記の条件が揃っていなければ動作しません

接続している周辺機器	接続方法	接続に使用する機器
デジタルカメラ	USB接続	• 専用USB接続ケーブル ※使用するデジタルカメラによって異なります。
PCカードアダプター	PCカードスロット	• コンパクトフラッシュカード使用時 PCカードアダプター(別売)CA-10 • SDメモリーカード／マルチメディアカード(MMC)使用時 市販のPCカードアダプター
カードリーダー	USB接続またはパラレル接続	• コンパクトフラッシュカード使用時 市販のCFカードリーダー/ライター • SDメモリーカード／マルチメディアカード(MMC)使用時 市販のSDメモリーカードリーダー／ライター

参考

- デジタルカメラの撮影画像を自動取込するには、12ページの表にある周辺機器を使用することをおすすめします。デジタルカメラ以外から画像を取り込むときは、24ページ「デジタルカメラで撮影したもの以外の画像を取り込む」を参照してください。
- 本機以外には次の撮影画像が自動取込対象となります。
  DCF準拠デジタルカメラまたはそのメモリーカード※（JPEGファイルのみ）
  QV-7000SX、QV-5500SXのメモリーカード※（JPEGファイルとAVIファイル）
  ※Macintoshにドライブとしてマウントすることが条件
- シリアル接続では自動取込はできません。

自動取込の設定をする

1. 機能ボタンの中から、[設定]ボタンをクリックします。

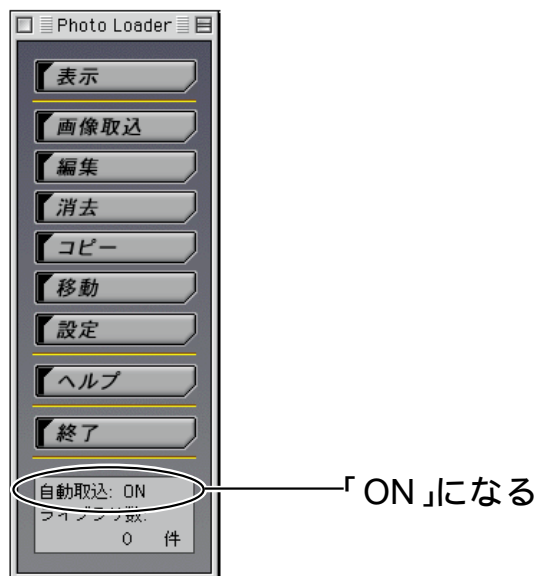
2. 「カメラ内画像の取込」タブをクリックします。

3. 「自動取込の指定」中の「自動取込 ON」を選択します。

- 初期設定では、「自動取込 ON」に設定されています。
- 自動取込をしない場合は、「自動取込 OFF」を選択します。

4. Photo Loaderを再起動します(設定を変更していない場合は再起動は不要です)。

これで自動取込が設定されました。

以後、デジタルカメラとMacintoshをUSB接続またはデジタルカメラの撮影に使用したメモリーカードをMacintoshにマウントすると、画像を自動的に取り込みます。

重要

- 自動取込の設定を変更したあとは、必ずPhoto Loaderを再起動してください。Photo Loaderを再起動しないと、変更が反映されません。

- コントロールバーの アイコンが表示されていることを確認してください。監視プログラムが起動していることを示します。もし、 アイコンが表示されていたら、 をクリックします。

前ページの画面が表示されたら「取り込みを一時停止する」を反転させてマウスのボタンをクリックし、「取り込みを一時停止する」のチェックをはずしてください。
また、カメラだけのアイコン( )が表示されているときは監視プログラムが起動していません。このときはPhoto Loaderのインストール先フォルダを開き、「Desktop Watcher 1.1J」をダブルクリックして監視プログラムを起動してください。

• 画像を取り込んだ後にライブラリを表示させるには必ず「設定」→「ブラウザの選択」で使用するブラウザを指定しておく必要があります。指定しないとブラウザは起動しません。

5. デジタルカメラをUSB接続、または撮影に使用したメモリーカードをMacintoshにマウントします。

- 確認ダイアログが表示されます。
- 確認ダイアログを表示させたくないときは、43ページを参照して設定を変更してください。

6. 自動取込を行うときは、[OK]ボタンをクリックします。

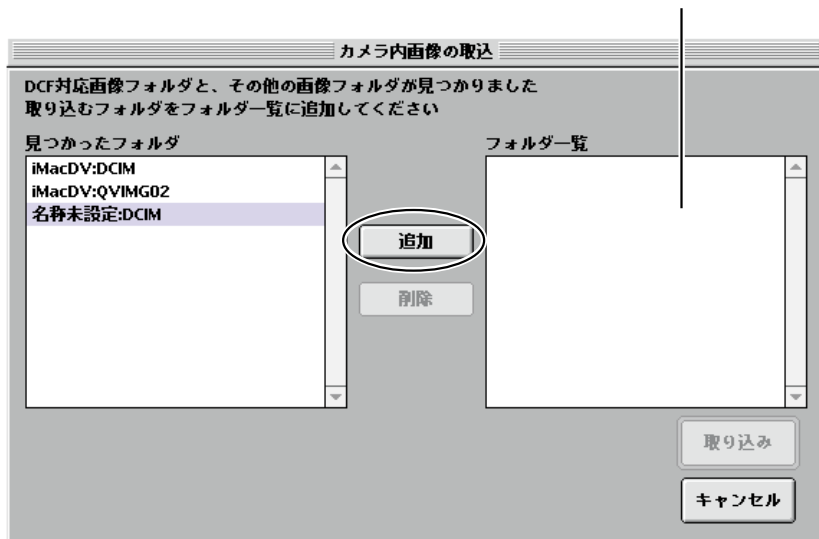
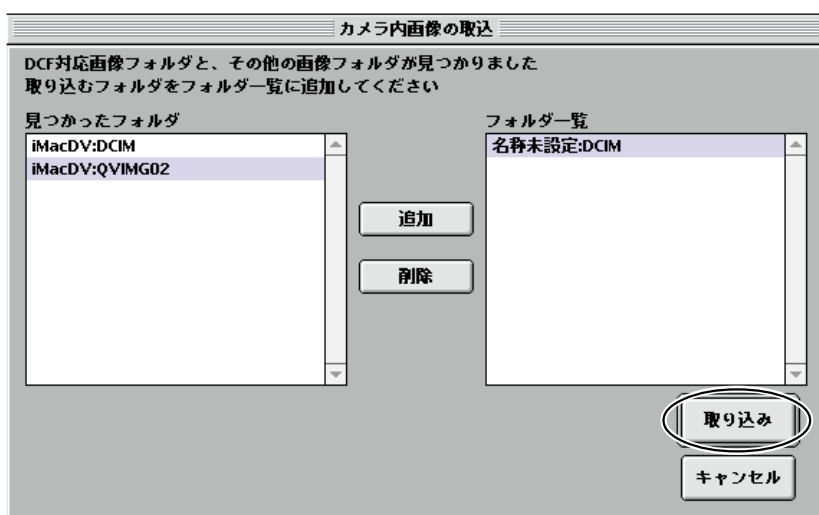
- デジタルカメラから画像が取り込まれ、ライブラリが作成されます。
- 自動取込をしないときは、[中止]ボタンをクリックします。
- デジタルカメラ(またはメモリーカード)に複数の画像フォルダがある場合は、操作7の画面が表示されます。

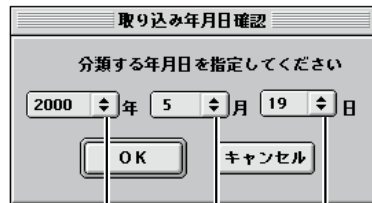
参考

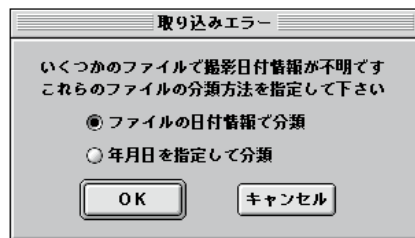
• デジタルカメラ(またはメモリーカード)に画像フォルダがひとつだけの場合は、操作9に進みます。

7. 取り込みたい画像データが含まれるフォルダを選択して、[追加]ボタンをクリックします。

取り込む画像を選びなおすときは、フォルダー一覧からフォルダを選択したあと、[削除]ボタンをクリックします。そのあと、再度取り込む画像を選びなおします。

フォルダー一覧に取り込むフォルダ名が表示されます。

8. [取り込み]ボタンをクリックします。

- 選択した画像フォルダ内の画像を取り込みます。
- 画像の取り込みを中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

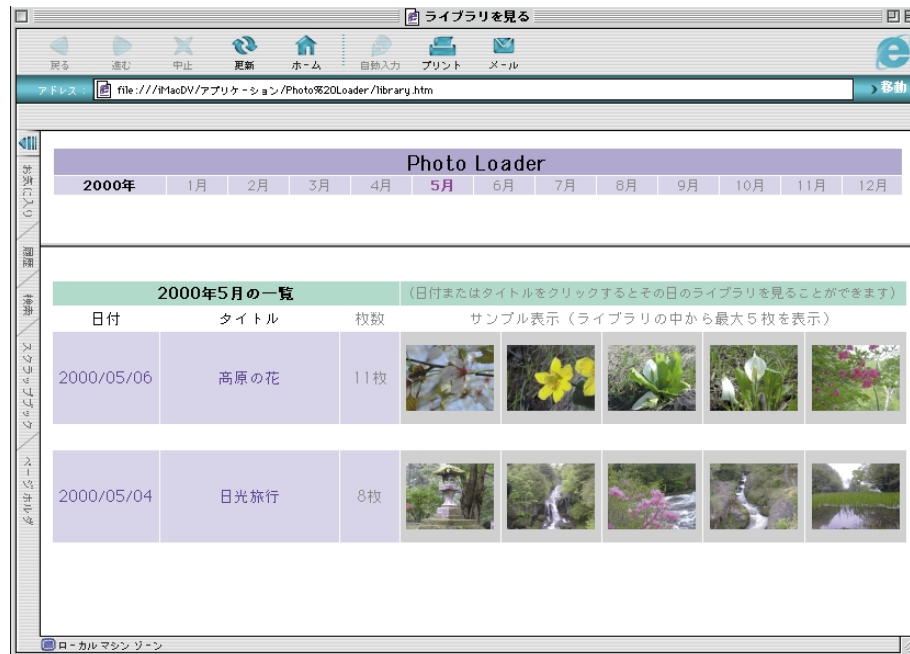
- 「年月日指定分類(一括分類)」で取り込んだときは、取り込み年月日確認ダイアログが表示されます。プルダウンボタンで年月日を指定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

プルダウンボタン

- 「撮影日付分類(自動分類)」で取り込んだとき、次のエラーメッセージが表示された場合は、27ページ「画像取込エラーの対処」を参照してください。

9. 取り込んだ画像のライブラリ名を入力します。

- 「年月日指定分類(一括分類)」を選択して取り込んだときのみこの操作ができます。
- 「撮影日付分類(自動分類)」で取り込んだときは、操作10の画面が表示されます。
- 「撮影日付分類(自動分類)」については、41ページ「ライブラリの分類方法」を参照してください。
- 入力できる文字数は、全角で20文字以内です。
- 「取り込み後にタイトルを入力」を「する」に設定しているときに、ライブラリ名を入力することができます。
  初期設定は「しない」に設定されています。
- ライブラリ名の入力設定については、42ページ「取り込み後にタイトルを入力」を参照してください。

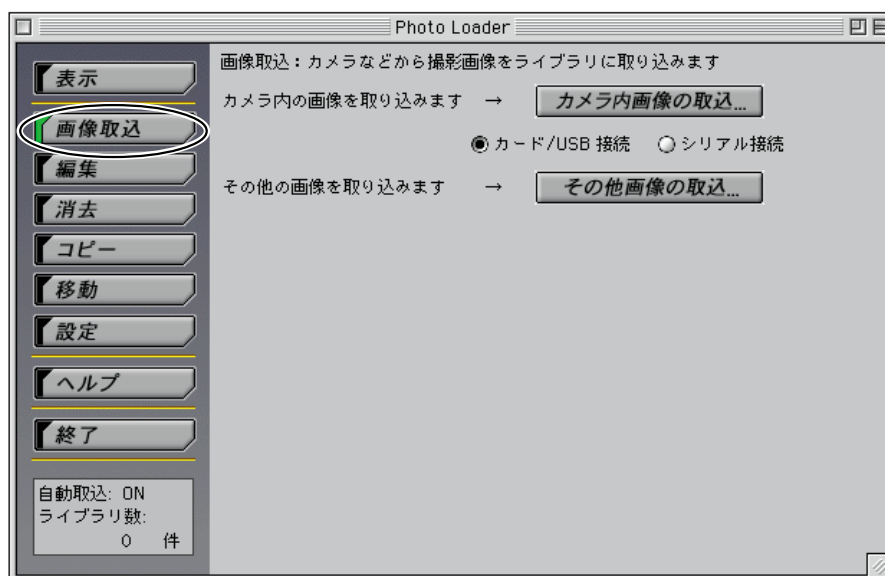
10. [OK]ボタンをクリックします。

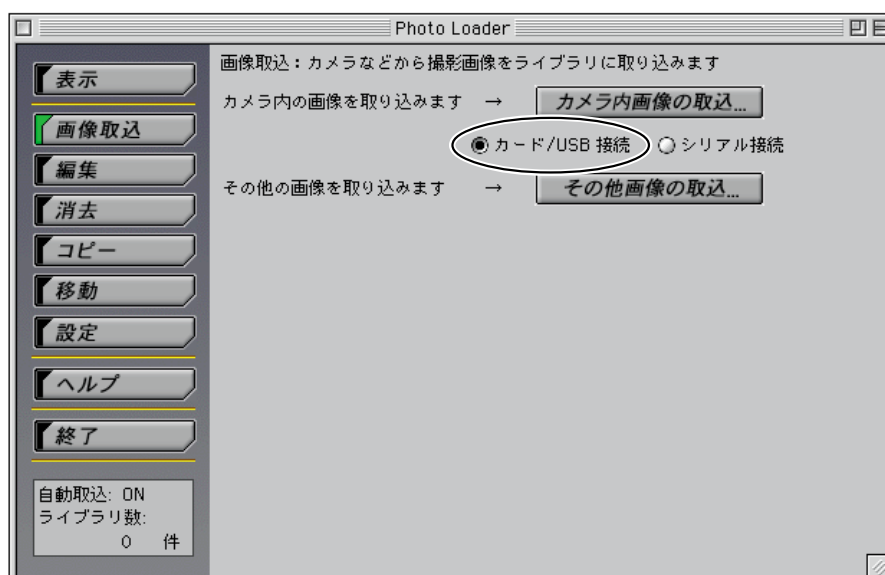
これで画像が取り込まれました。

Webブラウザが起動し、作成したライブラリがカレンダー形式で表示されます。

- ライブラリ表示の操作方法については、29ページ「ライブラリを表示する」を参照してください。
- 画像を取り込んだあと、ライブラリを表示させたくないときは「保存後[ライブラリを見る]を実行」の設定を変更してください。41ページ「Photo Loaderの設定を変更する」を参照してください。

手動で画像を取り込む（カード／USB接続のとき）

デジタルカメラで撮影した画像データをPhoto Loaderに取り込みます。
シリアル接続を選択したときは、21ページ「手動で画像を取り込む（シリアル接続のとき）」をお読みください。

1. 機能ボタンの中から、[画像取込]ボタンをクリックします。

2. Macintoshとデジタルカメラ(またはメモリーカード)の接続方法によって、「カメラ内の画像を取り込みます」の設定を選択します。

- 「カード/USB 接続」を選択します。

3. [カメラ内画像の取込...]ボタンをクリックします。

4. 以降の操作は、17ページ操作7以降と同様です。

参考

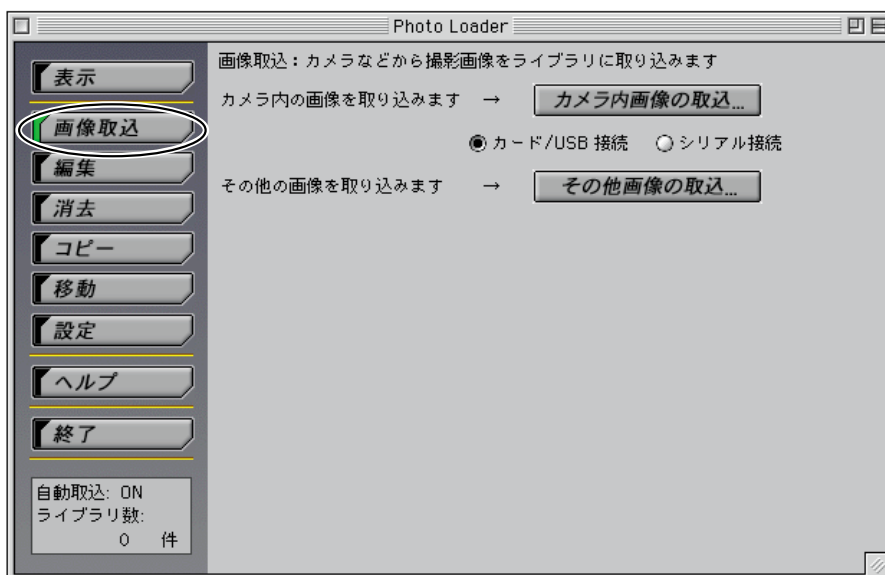
• デジタルカメラ(またはメモリーカード)に画像フォルダがひとつだけの場合は、以降の操作は18ページ操作9以降と同様です。

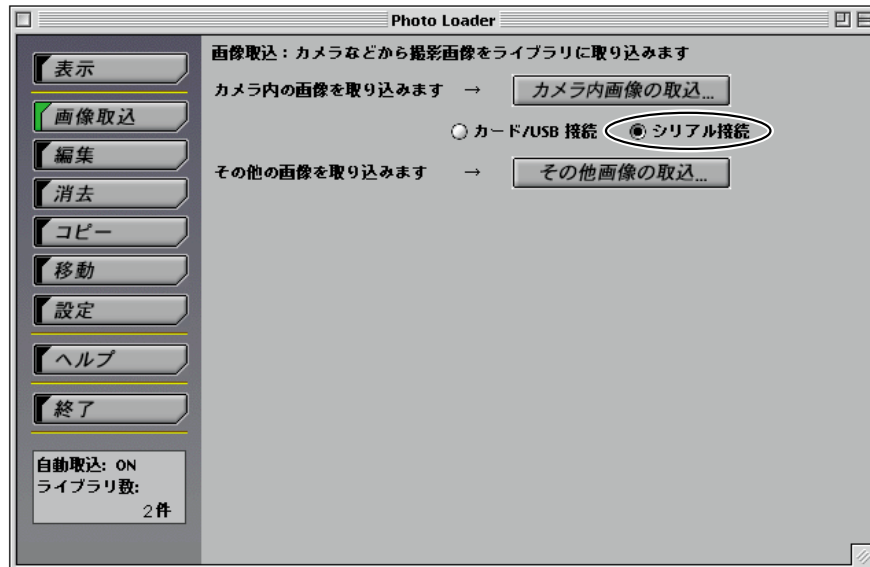
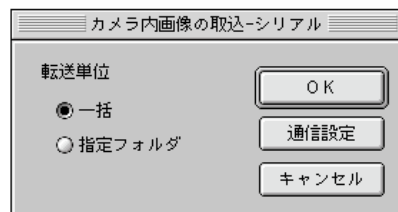
手動で画像を取り込む(シリアル接続のとき)

デジタルカメラで撮影した画像データをPhoto Loaderに取り込みます。
カード/USB接続を選択したときは、20ページ「手動で画像を取り込む(カード/USB接続のとき)」をお読みください。

重要

• デジタルカメラの機種によってはシリアル接続ができません。詳しくはデジタルカメラ本体の取扱説明書をお読みください。

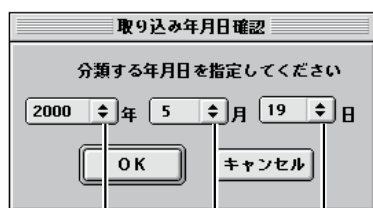
1. 機能ボタンの中から、[画像取込]ボタンをクリックします。

2. Macintoshとデジタルカメラ(またはメモリーカード)の接続方法によって、「カメラ内の画像を取り込みます」の設定を選択します。

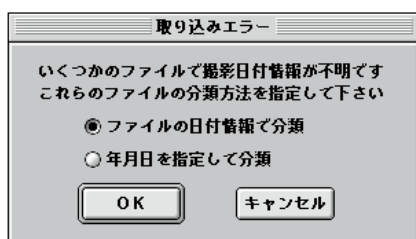
- 「シリアル 接続」を選択します。

3. [カメラ内画像の取込...]ボタンをクリックします。

4. 「転送単位」から、「一括」か「指定フォルダ」を選択します。

- デジタルカメラに保存されている全ての画像を取り込むときは、「一括」を選択します。
- デジタルカメラに保存されている画像の中から、取り込む画像のフォルダを指定するときは、「指定フォルダ」を選択します。

5. 「指定フォルダ」を選択した場合、次の画面で取り込む画像データを選択します。

6. [OK]ボタンをクリックします。

- 接続したデジタルカメラから画像を取り込みます。
- 画像の取り込みを中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。
- 「年月日指定分類(一括分類)」で取り込んだときは、取り込み年月日確認ダイアログを表示します。プルダウンボタンで年月日を指定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

プルダウンボタン

- 「撮影日付分類(自動分類)」で取り込んだとき、次のエラーメッセージが出た場合は、27ページ「画像取込エラーの対処」を参照してください。

- 「通信設定」については、9ページ「デジタルカメラとPhoto Loaderの通信状態を確認する」を参照してください。

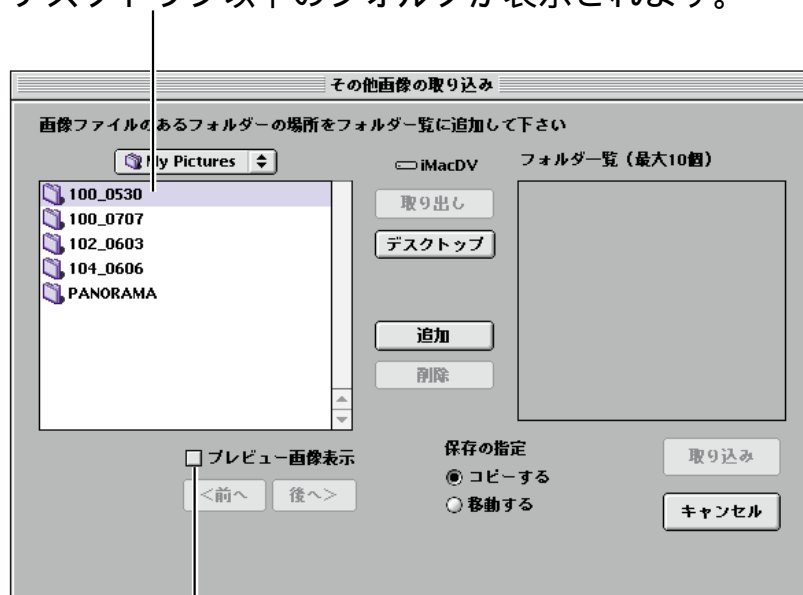
7. 以降の操作は、18ページ操作**9**以降と同様です。

デジタルカメラで撮影したもの以外の画像を取り込む

デジタルカメラで撮影したもの以外の画像データをPhoto Loaderに取り込みます。
Macintoshのハードディスクやネットワークで接続している周辺機器から、JPEG形式で保存された画像データ、AVI形式で保存された動画データを取り込むことができます。

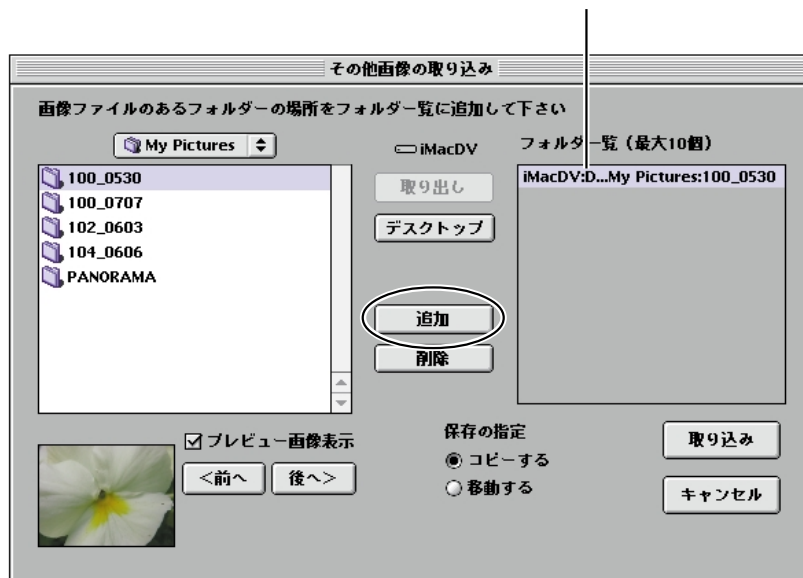
1. 機能ボタンの中から、[画像取込]ボタンをクリックします。

2. [その他画像の取込]ボタンをクリックします。

デスクトップ以下のフォルダが表示されます。

取り込み可能なフォルダを指定しているときに「プレビュー画像表示」をチェックすると、プレビューを表示します。

3. Photo Loaderに取り込みたい画像データを含んだフォルダを選択して、[追加]ボタンをクリックします。

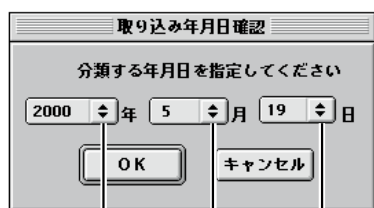
取り込む画像を選びなおすときは、フォルダー覧から画像データを選択したあと、[削除]ボタンをクリックします。そのあと、再度取り込む画像を選びなおします。

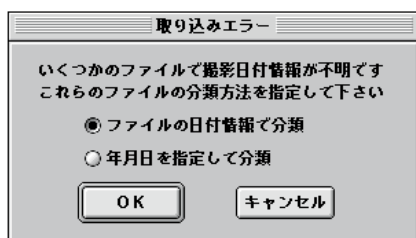
フォルダー覧に取り込む画像名が表示されます。

4. 「保存の指定」から、画像の取込方法を選択します。

- 「コピーする」…………………… 画像取込後、取込元の画像データをそのまま残す。
- 「移動する」……………………… 画像取込後、取込元の画像データを削除する。

※ ネットワーク上に存在するフォルダから画像データを取り込むときは、「移動する」は選択できません。

5. [取り込み]ボタンをクリックします。

- 選択したフォルダから画像を取り込みます。
- 画像の取り込みを中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。
- 「年月日指定分類(一括分類)」で取り込んだときは、取り込み年月日確認ダイアログを表示します。プルダウンボタンで年月日を指定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

プルダウンボタン

- 「撮影日付分類(自動分類)」で取り込んだとき、次のエラーメッセージが出た場合は、27ページ「画像取込エラーの対処」を参照してください。

6. 以降の操作は、17ページ操作7以降と同様です。

参考

- デジタルカメラ(またはメモリーカード)に画像フォルダがひとつだけの場合は、以降の操作は18ページ操作9以降と同様です。

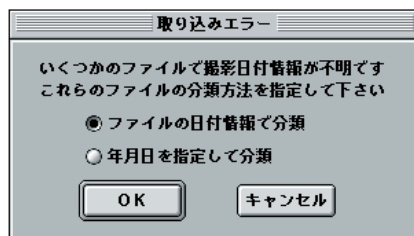
重要

• デジタルカメラでムービー撮影した画像について

①ムービー撮影
カシオ液晶デジタルカメラの「ムービー撮影モード」で撮影されたムービー画像（AVIファイル）をMacintosh上で再生させるためには、QuickTime4.0以上が必要です。

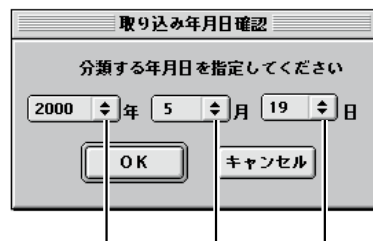
画像取込エラーの対処(「撮影日付分類（自動分類）」のとき)

「撮影日付分類（自動分類）」で画像を取り込むときは、画像(JPEG)ファイルの持つExifの撮影日付情報をもとに画像を分類し、ライブラリを作成します。
Exifの撮影日付情報が不正なファイル、Exifの撮影日付情報を持たないファイルがあったときは、取込エラーダイアログを表示します。
※ 動画(AVI)ファイルは、ファイルの日付情報(更新日)をもとに画像を分類し、ライブラリを作成します。

①「ファイルの日付情報で分類」を選択します。
- ファイルの日付情報をもとにライブラリを作成します。
- ファイルの日付情報ではなく、自分で年月日を指定して取り込むときは、「年月日を指定して分類」を選択して、[OK]ボタンをクリックします。③の操作に進んでください。
- [キャンセル]ボタンをクリックすると、Exifの撮影日付情報が正しいファイルのみを取り込んで、処理を終了します。

②[OK]ボタンをクリックします。

- これで画像が取り込まれました。
- ファイルの日付情報が不正なファイルがあったときは、取り込み年月日確認ダイアログを表示します。

③プルダウンボタンで年月日を指定します。

- 指定した年月日にライブラリを作成します。
- [キャンセル]ボタンをクリックすると、Exif、ファイル(①で｢ファイルの日付情報で分類｣を選択していないときは、Exifのみ)の日付情報が正しいファイルのみを取り込んで、処理を終了します。

プルダウンボタン

④[OK]ボタンをクリックします。

- これで画像が取り込まれました。

■ライブラリを表示する

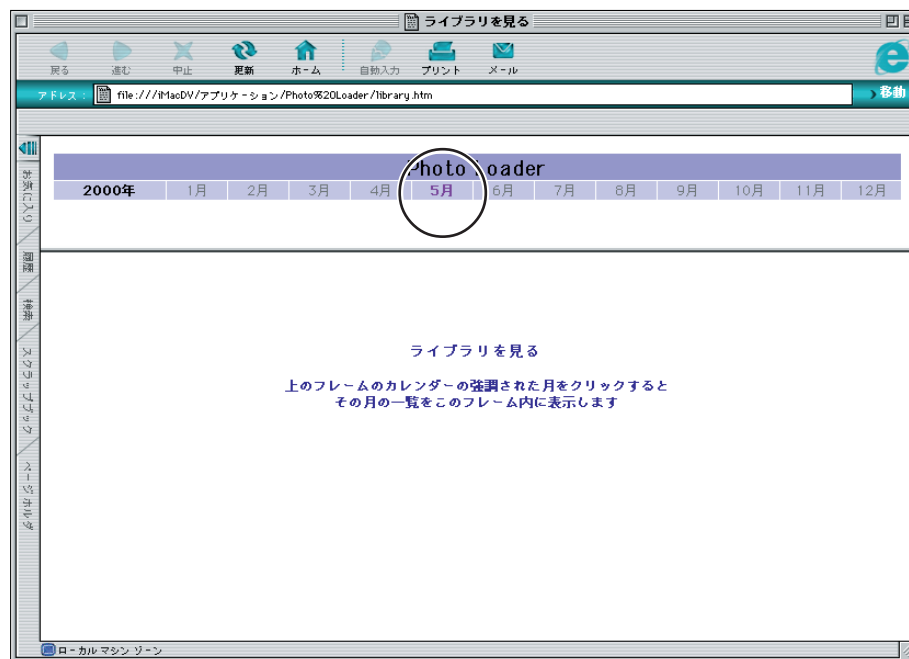
Photo Loaderでは、画像ファイルを収めたフォルダを「ライブラリ」として取扱っています。ここでは、そのライブラリに収められている画像をMacintoshのディスプレイ上に一覧表示するための操作方法を説明します。

※ ライブラリを表示するためには、Webブラウザソフトが必要です。

※ ブラウザソフトをインストールした後Photo Loaderで扱うブラウザソフトを指定する必要があります。「設定」→「ブラウザの選択」で必ずブラウザソフトの選択をしてください。

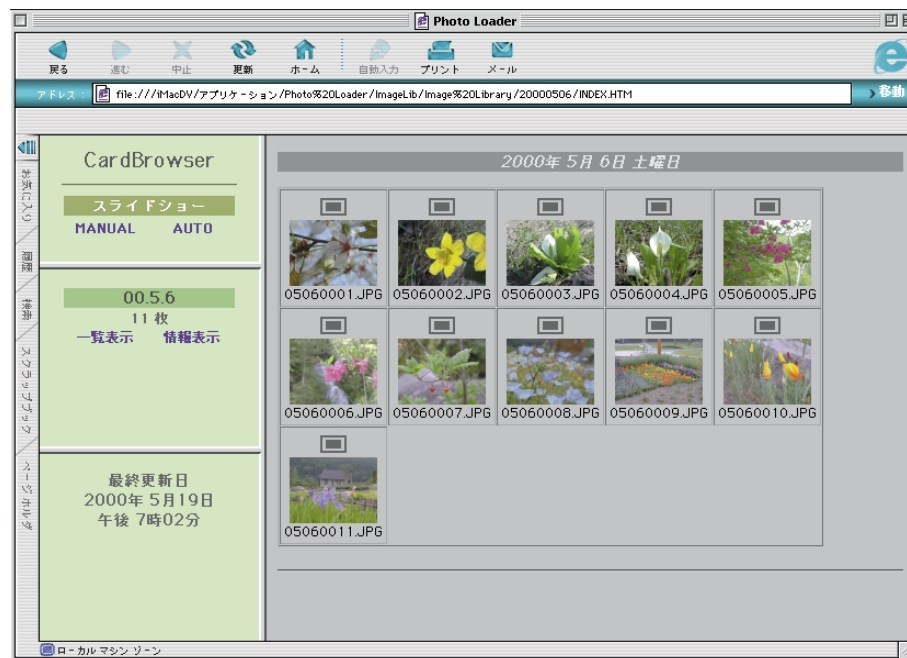
Photo Loaderからライブラリを表示する

1. 機能ボタンの中から、[表示]ボタンをクリックします。

画像データが保存されている年のカレンダーが表示されます。

画像データが保存されている月は、強調して表示されます。

2. ライブラリを表示したい月をクリックします。

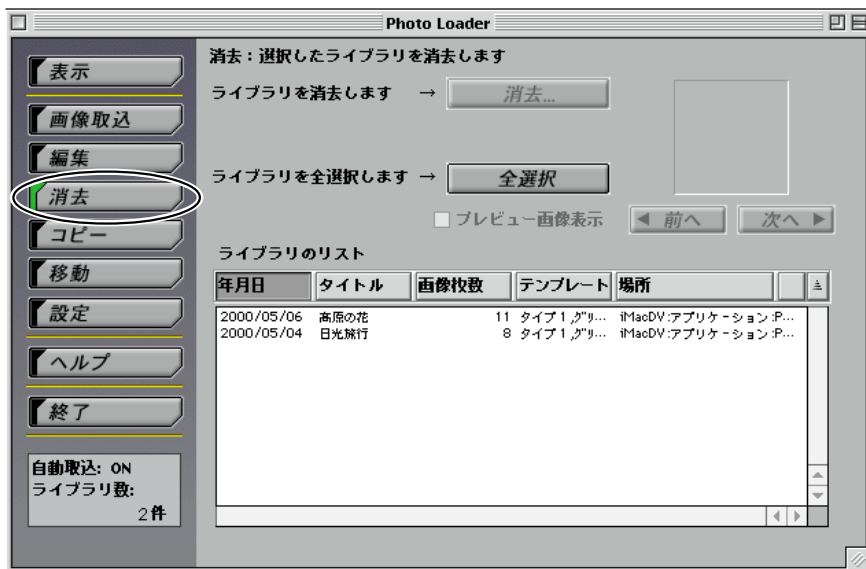
3. ライブラリを表示したい日付かタイトルをクリックします。

選択されたライブラリが表示されます。

この画面で、様々な表示ができます。

- スライドショー ･･･ ライブラリに登録された画像を1枚ずつ表示します。
  [MANUAL]ボタンをクリックすると、自分で1枚1枚送ることができます。
  [AUTO]ボタンをクリックすると、5秒ごとに次の画像を表示します。
- 一覧表示 ･････････ サムネイルで一覧表示します。
- 情報表示 ･････････ 画像撮影時の情報を表示します。

■ライブラリを消去する

ここでは、Photo Loaderのライブラリを削除する操作方法を説明します。

1. 機能ボタンの中から、[消去]ボタンをクリックします。

2. 消去したいライブラリを選択します。

- [全選択]ボタンをクリックすると、すべてのライブラリが選択されます。
- 「プレビュー画像表示」をチェックすると、選択したライブラリ内の画像を表示します。

選択したライブラリ内の画像を表示します。

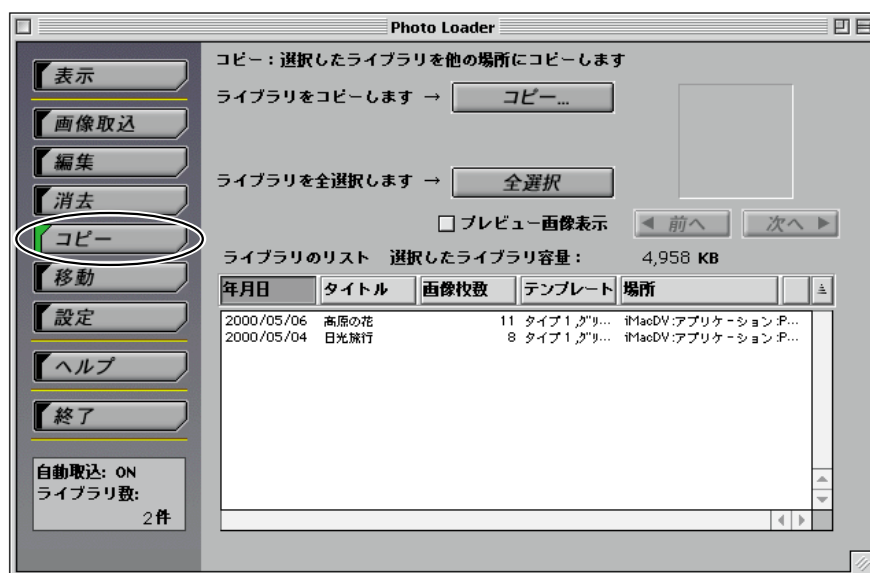
3. [消去...]ボタンをクリックします。

選択されたライブラリが削除されます。

■ライブラリをコピーする

ここでは、Photo Loaderのライブラリをコピーする操作方法を説明しています。

「ライブラリの保存フォルダ」で参照しているドライブから別のドライブへ、ライブラリをコピーすることができます。コピーした先のライブラリは、Photo Loaderでは見えなくなります。

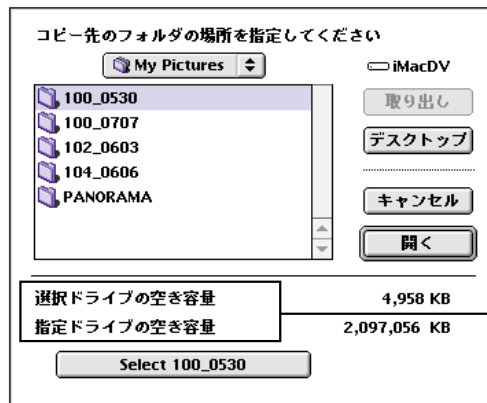
1. 機能ボタンの中から、[コピー]ボタンをクリックします。

2. コピーしたいライブラリを選択します。

- [全選択]ボタンをクリックすると、すべてのライブラリが選択されます。
- 「プレビュー画像表示」をチェックすると、選択したライブラリ内の画像を表示します。

選択したライブラリ内の画像を表示します。

選択したライブラリの容量を表示します。

3. [コピー...]ボタンをクリックします。

4. コピー先のフォルダを指定します。

選択したライブラリの容量とドライブの空容量を表示します。ドライブの空容量の方が少ない場合コピーできません。

5. [OK]ボタンをクリックします。

- 選択したライブラリが指定先のフォルダにコピーされます。
- コピーを中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

■ライブラリを移動する

ここでは、Photo Loaderのライブラリを移動する操作方法を説明しています。「ライブラリの保存フォルダ」で参照しているドライブから別のドライブへ、ライブラリを移動することができます。移動したライブラリは、Photo Loaderでは見えなくなります。

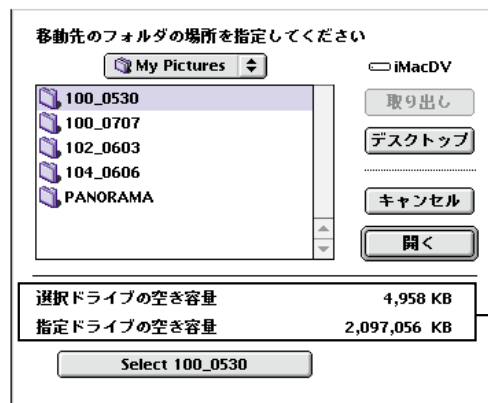
1. 機能ボタンの中から、[移動]ボタンをクリックします。

2. 移動させたいライブラリを選択します。

- [全選択]ボタンをクリックすると、すべてのライブラリが選択されます。
- 「プレビュー画像表示」をチェックすると、選択したライブラリ内の画像を表示します。

選択したライブラリ内の画像を表示します。

選択したライブラリの容量を表示します。

3. [移動...]ボタンをクリックします。

選択したライブラリの容量とドライブの空容量を表示します。ドライブの空容量が少ない場合移動できません。

4. 移動先のフォルダを指定します。

5. [OK]ボタンをクリックします。

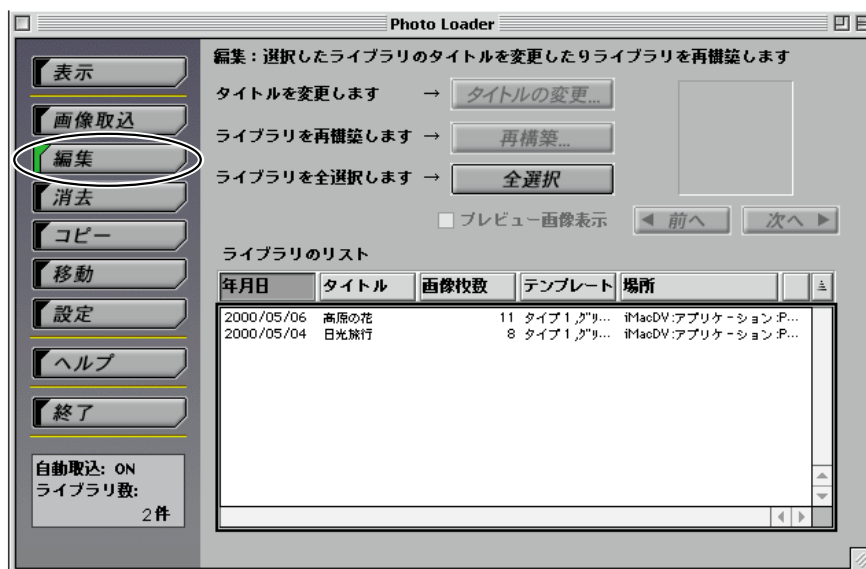
- 選択したライブラリが指定先のフォルダに移動されます。
- 移動を中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

■ライブラリを編集する

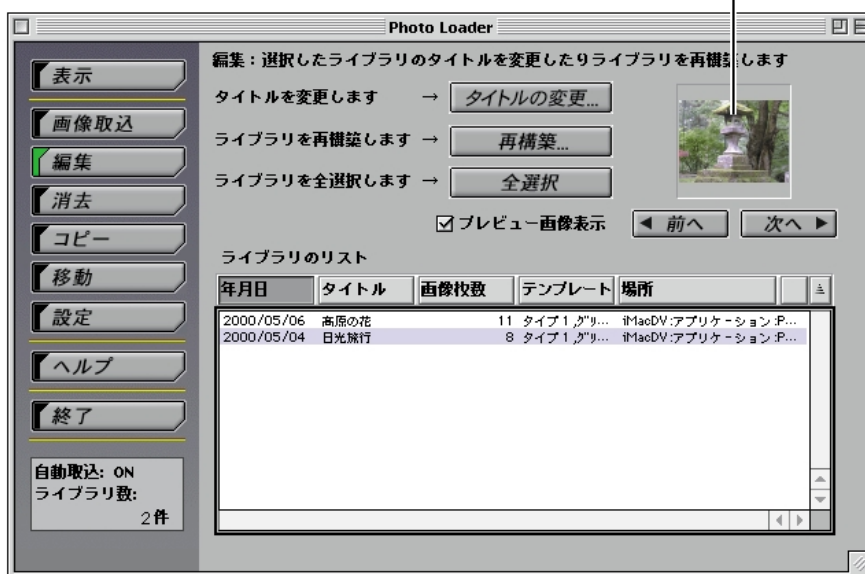
ここでは、Photo Loaderのライブラリを修正する操作方法を説明しています。
次の2つの操作ができます。

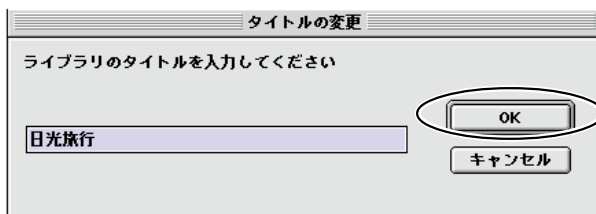
●ライブラリのタイトルを変更する
●ライブラリを再構築する

ライブラリのタイトルを変更する

1. 機能ボタンの中から、[編集]ボタンをクリックします。

2. タイトルを変更したいライブラリを選択します。

- 複数のライブラリを選択するとタイトルは変更できません。
- 「プレビュー画像表示」をチェックすると、選択したライブラリ内の画像を表示します。

選択したライブラリ内の画像を表示します。

3. [タイトルの変更...]ボタンをクリックします。

4. タイトルを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

- 入力したタイトルに変更されます。
- タイトルの変更を中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

ライブラリを再構築する

次のようなときは、ライブラリを再構築してください。

● 「設定」→「一般」→「内蔵テンプレートの選択」で、指定したテンプレートを個々のライブラリに反映するとき

● ライブラリをブラウザで表示させる際に、エラー表示がされて画像が表示されないとき

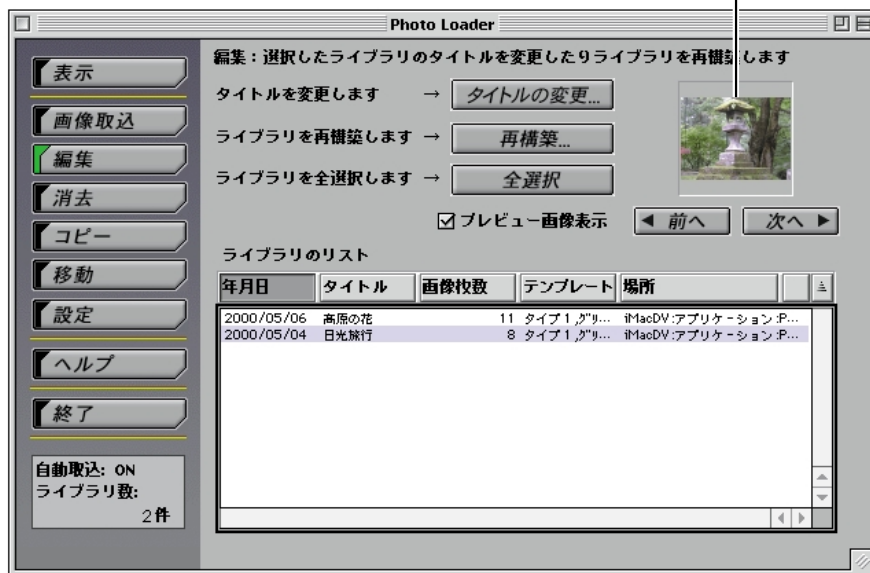
注意

• ライブラリに大量の画像があるときは、再構築に時間がかかります。

1. 機能ボタンの中から、[編集]ボタンをクリックします。

2. 再構築したいライブラリを選択します。

- [全選択]ボタンをクリックすると、すべてのライブラリが選択されます。
- 「プレビュー画像表示」をチェックすると、選択したライブラリ内の画像を表示します。

選択したライブラリ内の画像を表示します。

3. [再構築...]ボタンをクリックします。

4. [OK]ボタンをクリックします。

- 選択したライブラリを再構築します。
- ライブラリの再構築を中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

Photo Loaderの設定を変更する

ここではPhoto Loaderの各設定を説明します。Photo Loaderの設定には、大きく分けて次の3つがあります。
●一般
●カメラ内画像の取込
●バージョン表示

■一般

1. 機能ボタンの中から、[設定]ボタンをクリックします。
2. 「一般」タブをクリックします。
3. 各設定を行います。

「一般」には、次の設定があります。

ライブラリの分類方法

画像を取り込むときに、取り込む画像をどのように分類してライブラリを作成するのかを設定します。
分類のしかたには、「撮影日付分類(自動分類)」「年月日指定分類(一括分類)」の2通りがあります。
●撮影日付分類(自動分類)
デジタルカメラで撮影した日付で分類されます。
•画像(JPEG)ファイルの持つExifの撮影日付情報をもとに分類されます。
•動画(AVI)ファイルは、ファイルの日付情報(更新日)をもとに分類されます。
例) 2002年7月31日に撮影された画像ファイルは、20020731という名称のフォルダに取り込まれます。
●年月日指定分類(一括分類)
取り込むごとにフォルダが作られ分類されます。
•画像取込時に指定した年月日で分類されます。
例) 2002年7月31日を指定した場合、20020731_1という名称のフォルダに取り込まれます。

ライブラリの保存

画像を取り込むフォルダを指定します。
[参照...]ボタンをクリックして取り込む場所を変更します。変更すると、それまでに取り込んだライブラリも全て新しい保存先へ移されます。

取り込み後にタイトルを入力

画像取り込みのあとに、ライブラリのタイトルを入力する、しないの設定をします。
「する」に設定しておけば、Photo Loaderに画像を取り込んだあと、ライブラリのタイトルを入力するダイアログが表示されます。
※ 画像取り込み後にタイトルを入力することができるのは、ライブラリの分類方法が「年月日指定分類（一括分類）」のときだけです。「撮影日付分類（自動分類）」では、タイトルを入力することはできません。画像を取り込んだときに作られるライブラリの年月日を探して、「編集」→「タイトルの変更」で入力してください。
→41ページ「ライブラリの分類方法」

保存後[ライブラリを見る]を実行

画像取り込みのあとに、Photo Loader内の全ライブラリを表示する、しないの設定をします。
「する」に設定しておけば、保存(画像取込)後、Photo Loader内の全ライブラリを表示します。

内蔵テンプレートの選択

プレビュー画像表示に表示される情報を設定します。画像を取り込んだときにブラウザで表示されるライブラリの形式を選択します。

ライブラリを表示するブラウザ

[表示]ボタンをクリックしたときや、コントロールバーのライブラリを見るを選択したときに起動されるブラウザソフトを選択します。

1. [テンプレートの選択...]ボタンをクリックします。
2. テンプレートを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

既存のライブラリに対して修正したい場合は、「編集」の「再構築...」を実行してください。
→39ページ「ライブラリを再構築する」

■カメラ内画像の取込

1. 機能ボタンの中から、[設定]ボタンをクリックします。
2. 「カメラ内画像の取込」タブをクリックします。
3. 各設定を行います。

「カメラ内画像の取込」には、次の設定があります。

自動取込の指定※1

自動取込をする、しないを設定します。「自動取込 ON」に設定しておくと、Photo Loader監視プログラムにより、デジタルカメラから自動的に画像を取り込みます。

確認ダイアログ※2

画像取込の確認ダイアログを表示する、しないを設定します。
「表示する」に設定しておくと、画像を取り込む前に確認ダイアログを表示します。

保存後の元画像※3

取込元の画像データを残しておくかどうかを設定します。
「残す」に設定しておくと、画像を取り込んだあと、取込元の画像をそのまま残しておきます。

重要

- ※1,2,3は、画像を取り込むときの周辺機器との接続が「カード/USB接続」のときにのみ有効です。
- ※1を設定したあとは、Photo Loaderを必ず再起動してください。再起動を行わないと、設定が正しく働きません。

回転情報をもとに画像を縦横変換する

画像を取り込むときに、縦横変換をする、しないを設定します。
「縦横変換する」に設定しておくと、取り込んだ画像が回転情報を持っていたときは、その情報に基づいて縦位置の画像は縦位置として取り込まれます。取り込み元の機種によっては、縦横変換できないものもあります。

■バージョン表示

Photo Loaderのプログラムのバージョンを表示します。

1. 機能ボタンの中から、[設定]ボタンをクリックします。
2. 「バージョン」タブをクリックします。

ヘルプを見る

1. 機能ボタンの中から、[ヘルプ]ボタンをクリックします。

2. 読みたい項目をクリックします。

クリックした項目が開かれます。

Photo Loaderを終了する

1. 機能ボタンの中から、[終了]ボタンをクリックします。
   - Photo Loaderのプログラムが終了します。

困ったときには

ご使用中に不都合が生じたときは、機能ボタンの中の[ヘルプ]ボタンをクリックし、「トラブルシューティング」を参照してください。

用語集

ここでは、本書中に出てくる用語のうち、特にわかりにくいものを説明しています。

●DCF

Design rule Camera File systemの略。デジタルカメラで撮影した画像データを、各社のデジタルカメラ及び周辺機器間でやり取りすることができるように、画像データの保存形式の統一を目的とした規定。

●Exif

JPEG形式のファイルに撮影情報やサムネイル等を付加したファイルフォーマットのこと。

●JPEG

画像データの保存形式のこと。拡張子は.jpg。

●AVI

動画データの保存形式のこと。拡張子は.avi。

●メモリーカード(コンパクトフラッシュカード／SDメモリーカード／マルチメディアカード)

主に、デジタルカメラの記憶媒体。デジタルカメラで撮影した画像データをメモリーカードに保存・呼出することができる。

●ブラウザ

ブラウザソフト(Internet Explorer)のこと。HTMLファイルで保存されたデータファイルを読むためのソフトで、Photo Loaderのライブラリを一覧表示させるために使用する。

●ライブラリ

Photo Loaderで扱うフォルダのこと。

Photo Loaderに取り込んだ画像は、ライブラリと呼ばれるフォルダに保存される。